



例会場：ホテル プエナビスタ／例会時間：第1・2水曜日 19:00~20:00, 第3・4・5水曜日 12:30~13:30

「お城を見つめ直す」

移動例会(於；スターライト)
《納涼家族会》



開 会 19:00

司会・進行
ゲスト紹介

征矢クラブ管理副委員長
西牧会長

*米山記念奨学生 李 穎輝 様

*会員ご家族 田内千鶴子 様・田内まゆみ 様
井筒 秀子 様・大久保市子 様
塚本美恵子 様・西牧 文子 様
細野久美子 様

李 穎輝様へ米山記念奨学金授与
会長あいさつ

西牧会長
西牧会長

今回は1000回記念例会です。平成7年に松本東RCを親クラブとして創立し、すでに21年が経過しました。会員は平成10年の須沢年度には39名まで増えていますが、その後減少し、現在は22名となっています。今後味のあるクラブに育てていきたいと思ひます。

さて先日のお盆の行事で池田町の八幡神社の先祖を供養する榊葉会に出席したところ、お盆の風習について話題になりました。迎え火は13日夕方、送り火は16日午後に行うところが多かったのですが、私の実家ではその間毎日夕方迎え火をします。この辺では大町市、池田町、豊科、松本市の市街地にその風習が残っているようです。いずれも今は寂れていても昔は繁華街が近接している地域であり、折角家に戻ってきた御霊が、どこかに遊びに行ってしまう、夕食前に再び呼び戻すために行っているようです。

火の焚き方についても聞いてみたところ、ほとんどの地域はカンバでしたが、三才山、丸子などではワラを燃やすようです。また13日にお墓でカンバを焚き、御霊をお墓から呼び戻し、世帯主が背中に背負って家に戻って迎え火をし、送り火のあとも背負ってお墓まで送るところもあるようです。私のうちでは空を飛んでくると言われていました。

またキュウリとナスに割り箸をさして精霊馬と精霊牛

を作っていますが、きゅうりは足の速い馬として見立てられ、あの世から早く家に戻って来られるように。ナスは歩くのが遅い牛として見立てられ、少しでもこの世から帰るのを遅らせようとしたとされています。またお盆にご先祖様を供養するお供物などを持ち帰ってもらう為に牛にしたとも言われています。

狭い松本地区でもこんなに風習が異なっています。同じ人ですが、環境によっていろいろな考え、行動が生じてくるのだと感心しました。

幹事報告

藤田幹事

- ① 8月31日(水)例会終了後、定例理事会開催。
- ② 各RC例会変更のお知らせ。

[塩尻RC] 9月9日(金)移動例会、9月23日(金)休会(クラブ指定)、9月30日(金)移動例会(夜間例会) / [松本南RC] 9月12日(月)移動例会(職場例会)、9月19日(月)休会(法定休日) / [松本空港RC] 9月12日(月)移動例会、9月19日(月)休会(法定休日)、9月26日(月)移動例会 / [あづみ野RC] 9月14日(水)移動例会(9/3~9/4七尾親睦旅行)、9月21日(水)移動例会(夜間例会) / [松本西南RC] 9月14日(水)移動例会(松本城RCとの合同夜間例会)、9月21日(水)移動例会(9/22;なんでも相談会-於;JR松本駅自由通路) / [木曾RC] 9月13日(火)移動例会(職場例会)、9月20日(火)休会(クラブ指定) / [塩尻北RC] 9月15日(木)移動例会(夜間例会)、9月8・22日(木)休会(クラブ指定)

出席報告

会員総数 22名(内出席規定適用免除欠席者1名)
本日の欠席者 7名(他2名は事前メイキャップ済)
出席率 66.67%
前々回(8/3)修正欠席者 3名 出席率 80.00%

ビジター受付

[松本RC] 小山 正広 君・久保田 享 君
[松本南RC] 清水 和志 君・春日 孝介 君



乾杯 西牧会長



閉会のことば 児野副会長

閉会 21:00

[写真；西川]

MY ROTARY より

《ロータリー財団100周年》

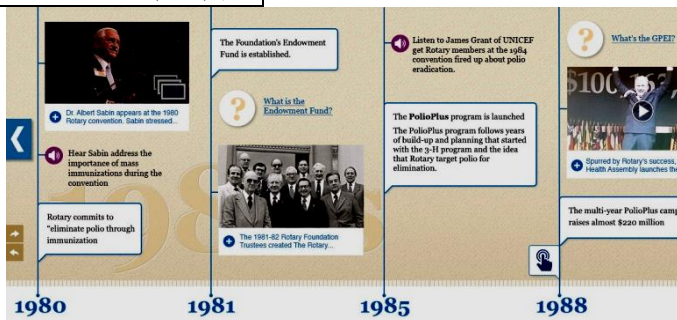
「私たちは、自分のためだけに生きるべきではありません。誰かのために“よいこと”をする喜びのために生きるべきです」(ロータリー財団創設者 アーチ・克蘭フ)

記念イベントを企画しよう

ロータリー財団100周年を祝おう

記念イベントを実施し、地元の人たちと一緒に財団の100年を祝いましょう。予定されているイベントをチェックし、クラブや地区でのイベントを今からご計画ください。

インタラクティブ年表



財団の歴史をひも解く

1917年、当時の会長アーチ・克蘭フが「世界でよいことをする」ための基金を提案したことをきっかけに、26ドル50セントの寄付からスタートした財団。今では、世界で何百万という人びとを支援するグローバルな財団に成長しました。

募金目標について

100周年年度の財団の募金目標は3億ドル。財団が多くの人びとを支援していくため、募金にご協力ください。

《会員増強》

「入会してよかった」と思われるクラブとなるには、会員のニーズをしっかりと把握し、その期待に応えることが重要です。地域に貢献していると実感でき、仲間との友情を育むことのできるクラブとなるには、どうすればよいでしょうか。

まずは元気なクラブづくりから

クラブの現状評価を行い、クラブの強みと問題点を確認することから始めましょう。地域社会を反映した多様な会員がいるでしょうか。入会見込者にとって魅力となるクラブの個性は何でしょうか？

“いいクラブ” から一歩その先へ

「元気なクラブづくりのために：クラブ・リーダーシップ・プラン」は、新会員と現会員の積極的な参加を促して、元気なクラブをつくることを応援するリソースです。また、ガバナー補佐、地区会員増強委員会、ガバナーなどの地区リーダーにも相談してみましょう。

新しい会員を探す

ロータリーの奉仕プロジェクトや親睦イベントに招き、ロータリーを実際に体験してもらいましょう。仲間とともに良い地域社会づくりに貢献できるのがロータリークラブです。

あなたの身近なところにも入会候補者がきつというはずです。

ソーシャルメディアの活用

クラブのウェブサイトを定期的に更新し、ソーシャルメディアを有効に活用することも、入会候補者をひきつけるカギとなります。

9月10・11日例会プログラム／移動例会(里山に児童を親しませるプロジェクト)

会員増強にご協力ください。